

◆調査結果

○建設機械の稼働に係る大気質【二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）、浮遊粒子状物質（SPM）】

- 二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）については、いずれも環境基準を下回る結果となっています。
- 浮遊粒子状物質（SPM）については、1日平均値、1時間値ともにいずれも環境基準を下回る結果となっています。

調査時期	調査日	E		
		NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
夏季	6月24日	0.010	0.015	0.026
	6月25日	0.010	0.015	0.024
	6月26日	0.009	0.015	0.022
	6月27日	0.007	0.011	0.016
	6月28日	0.009	0.011	0.023
	6月29日	0.007	0.010	0.018
	6月30日	0.012	0.020	0.032
	期間内平均	0.009	0.014	—

※ 調査地点Bの周辺では、6月～8月は工事が行われなかったため、調査を実施していません。

○工事用車両の運行に係る大気質【二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）、浮遊粒子状物質（SPM）】

- 二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）については、いずれも環境基準を下回る結果となっています。
- 浮遊粒子状物質（SPM）については、1日平均値、1時間値ともにいずれも環境基準を下回る結果となっています。

調査時期	調査日	A			調査日	D		
		NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )			NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
夏季	6月24日	0.011	0.016	0.025	6月24日	0.016	0.017	0.026
	6月25日	0.010	0.014	0.028	6月25日	0.014	0.016	0.027
	6月26日	0.011	0.015	0.024	6月26日	0.015	0.016	0.022
	6月27日	0.008	0.012	0.022	6月27日	0.010	0.012	0.016
	6月28日	0.009	0.013	0.020	6月28日	0.013	0.013	0.019
	6月29日	0.007	0.011	0.017	6月29日	0.011	0.010	0.019
	6月30日	0.015	0.017	0.031	6月30日	0.018	0.019	0.0031
	期間内平均	0.010	0.014	—	期間内平均	0.014	0.015	—

※ 調査地点Gの周辺では、6月～8月は工事用車両が運行されなかったため、調査を実施していません。

↓  
0.031

参考

訂正後も環境基準値（0.20mg/m<sup>3</sup>）を下回る結果となっています。

◆環境基準

二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。（「二酸化窒素に係る環境基準について」（環境庁告示））

浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。（「大気の汚染に係る環境基準について」（環境庁告示））

※環境基準との評価は、『道路環境影響評価の技術手法』に基づいて、1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低い方から数えて98%目（若しくは高い方から数えて2%目）にあたる値を環境基準と比較することにより行います。